

# 豊川小だより

12月号

## ♪ 我等（われら）の 豊川

校長 中村 順子

ホームページ  
QRコード



令和7年11月28日  
北区立豊川小学校  
校長 中村 順子

11月15日、天気までも祝ってくれているような秋空の下、本校の創立150周年記念式典を無事に挙行いたしました。明桜中学校の広い体育館をお借りしたことにより、全校児童がご来賓の皆様とともに創立150周年をお祝いすることができました。これは子供たちにとって大変貴重な経験となりました。

協賛会にご準備いただいた揃いの真っ白い「さくらすポロシャツ」に身を包んだ全校児童が、明桜中学校の体育館に一堂に会し、ご来賓を囲むようにお届けした「よろこびのことば」。特にフィナーレの合唱「地球星歌」は、響きあう子供たちの歌声がシャワーのように広がり、会場全体に降り注ぐかのように感じられました。

そして最後の校歌斉唱。およそ500人の児童・教職員に加え、ご来賓や地域の方々も加わってくださったことで、歌声は一層大きくなりました。本校の校歌は、戦後の1950（昭和25）年に、同窓生の高橋貞子様の作詞により生まれたものです。その1番から3番までいずれも「我等の 豊川」で結ぶ歌詞になっています。校歌斉唱で会場が一体となり、「♪ 我等の 豊川」と歌い上げたこの瞬間、創立からの長きにわたって豊島の街、そして豊川小学校を大切に思ってくださっている地域の方々の温かさ、そして強い思いを感じ、私も思わず立場を忘れて胸が熱くなりました。校歌を通してまた、たくさんの方々と「思いを共にする幸せ」をさらに感じた式典になりました。児童、教職員にとっても、この創立150周年記念式典は、今後も長く記憶に残る素晴らしい時間となったことと思います。

＊

### 【式典後の声より】

- ・ 6年生 「自分が歌っているときも感動して、泣きそうになりました」  
「涙ぐんでいるお客様を見て、がんばってよかったと思いました」
- ・ 教職員 「この瞬間に豊川小の一員として立ち会うことができた喜びを感じました」  
「地域の方々が豊川小を大切にしてくださっていることを改めて感じ、身の引き締まる思いがしました」
- ・ PTA・地域の方  
「携わることができて良い経験になり、感動しました」  
「歌声に感動して思わず涙が出ました」  
「子供たちが豊川小の歴史を引き継いでくれていることがうれしかったです」



こうした言葉の数々からも、児童・教職員・保護者・地域が一つになって作り上げた式典であったことが伝わってきました。

＊

これからも「我等の豊川」の思いを胸に、新たな歴史を一つ一つ刻みながら、子供たちとともに歩んでまいります。

式典の準備・運営にご協力くださいました全ての皆様へ、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

